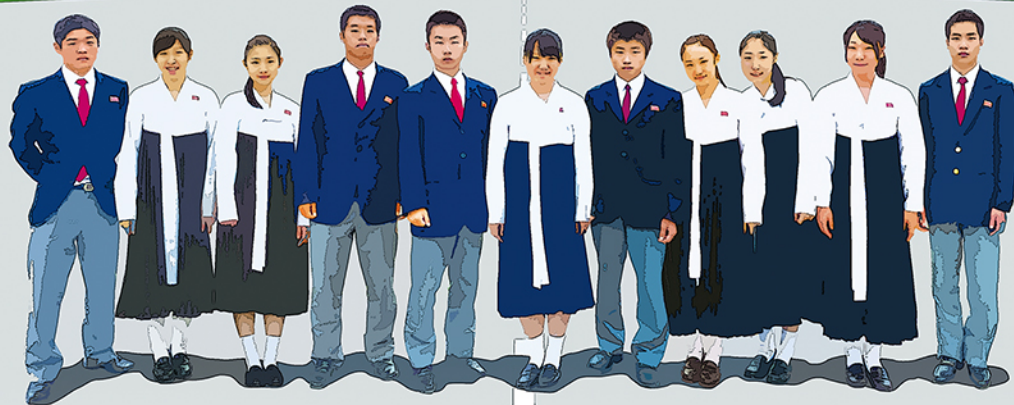


異国の空と祖国の空一、その瞳たちに映る蒼い希望。



D.P.R.K ← → JAPAN

長編ドキュメンタリー映画

そらいろ
蒼のシンフォニー
SORAIRO NO SYMPHONY

— 日本で生まれ育った朝鮮学校生徒たちの物語 —

監督 | 朴英二

出演 | 茨城朝鮮初中高級学校 第58期生

プロデューサー | 伊志守 制作 | 朴明順 許相浩 李英哲 李鍾周 主題歌 | 「そらいろ」金嬉仙 音楽 | 高明秀 全寿福 李龍午 ウリナラ 撮影 | 朴英二 金成光 伊志守
製作 | 蒼のシンフォニー製作委員会 ©NEWSTYLE.CO.,LTD soraironosymphony.com

4月2日(土)よりロードショー

日本・韓国・朝鮮、三つの国境をまたいで 撮影されたドキュメンタリー映画。

訪朝14回、訪韓10回。南北を自由に往来する
在日監督によるドキュメンタリー。

朝鮮学校生徒たちのありのままの姿と、朝鮮の人々の素顔を、
朴英二の“眼”だからこそ撮りえる映像で描き出す。



日本には数多くの朝鮮学校が存在する

日本で生まれ育った在日コリアンの子どもたちが、民族の言葉や歴史、文化などを学んでいる。生徒たちは高校3年生になると、“祖国”である朝鮮民主主義人民共和国を訪問する。日本のメディアでは目にする事の出来ない「北朝鮮」の姿を、自身の心と体で感じ取る。



祖国は未だ分断されたまま

軍事境界線で、70年にもわたる南北分断の悲劇を目の当たりにする生徒たち。あちら側では外国人観光客がもの珍しそうに、こちら側にカメラを向けている。“北”から“南”を眺める「朝鮮」籍の彼女は、“故郷”である韓国の地に足を踏み入れることは許されない。



在日朝鮮人として生きる選択

街を歩く生徒たちを見て、朝鮮人だと気付く人は誰もいない。見た目も話す言葉も日本人と全く変わらない。朝鮮人であるためにヘイトスピーチの脅威にさらされ、朝鮮学校に通うことで、高校無償化からの除外という差別にさらされている。人々の「善意」が口々に言う。「どうして日本人にならないの?」

生徒たちが奏でる交響

国や社会から存在を否定され続けてきた生徒たち。そんな逆境の中でも、堂々と前を向き、しっかりと夢を語る。明るく笑い、歌う。“蒼”は青春の、けれども、くすみがかかったこの空の色。だけど一人一人が、きっと大きく一つにつなげていくであろう、輝く蒼天の色。響きわたる、愛と希望のシンフォニー。



茨城朝鮮初中高級学校
1953年4月15日創立。初・中・高級部(小中高に相当)が併設されている。高級部の学区は東北6県・新潟・栃木・群馬・茨城で、10県・6校(東北6県には宮城と福島に2校)の日本最大学区(本州の45%)であり、高級部生の大半は寄宿舎で生活し学校に通う。2014年度生徒数70名。

監督:朴英二 出演:茨城朝鮮初中高級学校 第58期生 プロデューサー:尹志守 制作:朴明順、許相浩、李英哲、李錫周
主題歌:「そらいろ」金嬉仙 音楽:高明秀、全寿福、李龍午、ウリナラ 撮影:朴英二、金成光、尹志守
2016年/日本/95min 製作:蒼のシンフォニー製作委員会、NEWSTYLE soraironosymphony.com

そらいろ
蒼のシンフォニー
SORAIRU NO SYMPHONY

4月2日(土)よりロードショー

◎4月2日(土)～22日(金) 連日21:00～ ◎4月9日(土)・10日(日)・16日(土)・17日(日) モーニングショー

チケット料金 ◎一般 1,500円 ◆前売り 1,200円 ◎大学生、専門学校 1,300円
◎会員・シニア 1,100円 ◎高校生 800円 ◎中学生以下 500円
※特別鑑賞券 1,200円(税込)をユーロスペース劇場窓口にて販売中!

渋谷・Bunkamura前交差点左折

ユーロスペース
EUROSPACE

TEL.03-3461-0211

〒150-0044 東京都渋谷区円山町1-5

www.eurospace.co.jp

